

議会だより



～鹿部陸上スポーツ少年団～ 全道大会でメダル獲得!



鹿部陸上スポーツ少年団は、平成27年5月に3名の団員で発足し、現在小中学生総勢24名が、上位入賞を目指して日々練習に励んでおります。

全道大会へは発足2年目の平成28年から連続して出場しており、先日開催（7月14日～15日）された第37回全道小学生陸上大会で6年生女子「80mハードル」と「80mハードルと走り高跳びの混合」2種目で高本絢菜さんが3位に入賞し、悲願のメダルを獲得しました。

第78号の掲載内容

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ○第2回定例会の概要…………… 2 P | ○一般質問の概要…………… 3 P～4 P |
| ○第2回、3回臨時会の概要…………… 5 P | ○議員全員協議会…………… 5 P |
| ○委員会の活動…………… 6 P | ○議員行政視察、研修会…………… 7 P |
| ○会議出席状況…………… 8 P | ○議会の行事…………… 8 P |

発行／鹿部町議会 編集／鹿部町議会運営委員会

委員長 浦 梅吉、副委員長 高橋 茂夫
委員 千葉 光義、委員 船橋 敦子

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字宮浜299
TEL 01372-7-5296 (直通) FAX 01372-7-3086

令和元年第2回定例会～

令和元年第2回定例会は、6月6日に招集され会期を2日間と決め町長の行政報告が述べられ、その後2名の議員が一般質問を行いました。また、条例3件、補正予算1件、その他議案5件、発議2件の審議を行い、全て原案のとおり可決され会期を1日残して閉会しました。なお、審議された議案の主な内容は下記のとおりです。

条例

◆鹿部町例規集内容精査に伴う条例の整理に関する条例の制定について
例規集の内容精査に伴い必要な規定の追加、削除等の整理を行う必要がある条例を一括して改正するものです。

◆林道維持管理条例の全部を改正する条例の制定について
現状と一致しない条項や修正を必要とする箇所が確認されたことから全部を改正したものです。

◆鹿部町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
国会議員の選挙等に係る執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、選挙長ほか投票管理者、投票立会人等の報酬額を改正したものです。

補正予算

◆令和元年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ312万6千円を追加し、予算総額を28億7990万5千円としました。

内容は、制度改正に伴う地域生活支援事業システム及び子育て支援システムの改修費199万9千円の追加が主なものです。

その他

◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について

◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
加入団体の変更に伴い、組合を組織する団体の協議が必要となることから地方自治法の規定に基づき議会の議決を求めたものです。

◆財産の取得について
中央公民館及び総合体育館の災害時非常用発電機を更新するものです。

【財産の名称等】
社会体育施設非常用発電機2台

【取得金額】
1694万9900円

【取得の相手方】

◆北海道市町村備荒資金組合
◆平成30年度鹿部町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

鹿部町例規集内容精査業務ほか2本の事業費を平成31年度会計に繰越して実施することから予算措置について議会に報告したものです。

発議

◆鹿部町議会委員会条例等の一部を改正する条例の制定について

◆鹿部町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

鹿部町例規集内容精査に伴う条例の整理に関する条例の制定により、議会の委員会条例等の一部を改正したものです。

一般質問の掲載方法を変更しました。

今月号から議員が行う一般質問の要旨等について執行者（町側）とのやり取りが分かりやすいよう、質問と答弁を要約して項目別（Q&A方式）に掲載しております。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は、9月上旬に開催される予定です。

～傍聴手続きは簡単です～

傍聴席の入り口にある傍聴人名簿に住所と氏名を記入するだけです。



高橋茂夫 議員

人材確保について

■質問と答弁の要約

Q. 1 高橋 茂夫 議員

介護老人福祉施設の入所待機者の実態と近隣行政との連携を含めた対応策について。

A. 1 盛田 昌彦 町長

本町で介護老人福祉施設を開設している事業者は1事業者で、ベッド数は50床ある。入所待機者数は60人、うち本町住民の入所待機者数は48人となっている。鹿部町地域包括支援センターにおいて、他市町村の介護保険施設の紹介や情報提供を行っており、引き続き、他市町村の介護保険施設や介護保険サービス事業者と連携を取りながら、本町住民の介護ニーズにあつた介護サービスの提供に努めて参りたい。

Q. 2 高橋 茂夫 議員

鹿部町で働く介護人材を確保するため、資格取得の経費を負担する等、事業所と連携しながら進めて行く必要があると思うが、どのように考えているか。



A. 2 盛田 昌彦 町長

今年度、介護職員初任者研修会の開催と介護職員初任者研修受講補助金事業を予算措置している。

本町の介護保険施設や介護サービスの事業所に就職を希望する住民に対し、介護福祉士やホームヘルパーの資格取得に必要な研修会の開催と当該研修受講料の一部を助成することで、介護保険サービスに従事する方を確保し、

本町における介護保険サービスの安定的な提供を図ることを目的として実施して参りたい。

Q. 3 高橋 茂夫 議員

漁業関係者は、海外に人材を求めているようだが、その実態と町としての支援策について。

A. 3 盛田 昌彦 町長

現在、受入漁家は6軒、受入人数は男性11名で、国別では中国が5名、インドネシアが2名、ベトナムが4名となっている。

支援策については、本年4月に「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、従来の外国人技能実習制度とは異なり在留資格が緩和された制度となったことから、この新制度を活用した中で、漁協と各関係機関との連携を深めて参りたいと考えている。

Q. 4 高橋 茂夫 議員

生活支援・援助を行つていくホームヘルパーの人数は、不足していないか、必要としている住民に十分な支援が出来るか。

A. 4 保健福祉課長

訪問介護事業に従事しているホームヘルパーは、常勤2名、非常勤で3名となっている。

介護サービス事業者実施指導の結果を見ると、現在の従業員数は基準を満たしており、必要とするサービスを提供出来ている。

Q. 5 高橋 茂夫 議員

今年4月から外国人労働者の受入れが拡大されているが、介護職にこの制度を利用する考えはあるか。

A. 5 保健福祉課長

北海道においても先進的な取り組みをしている自治体があるので、今後、他市町の動向も含め情報収集に努めて参りたい。





佐藤頼幸 議員

財政状況について

町長は、就任以来、新たな事業に着手し、また、職員数なども増やし、私は今後の財政運営に不安を感じ、何度も指摘をさせていただきました。

その際、財源を見込んで実施、財政規律の堅持、健全財政への確保等をしていると答弁されていますが、本年度の予算をみると、基金の取り崩しが3億円を超え、特に大型事業が見当たらない中、昨年度より5千万円ほど多く取り崩さなければならぬ予算となっていることを考えますと、先代の町長が貯めてきた基金が、数年で無くなる計算となります。よって、鹿部町の財政状況はどのように推移しているか、また、今後の推移について、さらには財政改善に向けた打開策があるのかお伺いします。

■質問と答弁の要約

Q. 1 佐藤 頼幸 議員
鹿部町の財政状況の推移について。

A. 1 盛田 昌彦 町長
平成25年度から平成29年度までの過去5年間の一般会計における歳入歳出の収支の状況、地方債と基金残高の推移等について。

歳入歳出の収支の状況は、各年度黒字で推移している。次に地方債残高の推移は、平成25年度末では約29億円であったが、通常償還及び繰上償還の実施により、平成29年度末では5億円ほどの減で、約24億円となっている。

次に基金残高の推移では、現在保有している6種類の基金全体の残高は、平成25年度末が約24億円で、平成29年度末では約20億と、2

億円程度の減額となっている。

Q. 2 佐藤 頼幸 議員
今後の財政状況の見通しについて。

A. 2 盛田 昌彦 町長
基金については、実質的には今年度は3千万円の減額であったが、過去の推移と今後の大型事業を加味して算出すると、年間、1億5千万から2億円程度の減額で推移するものと見込んでいる。

今後、予定している役場庁舎や幼稚園の建替え等、大型事業がいくつかあるが、これらの財源については、補助金や交付税措置のある地方債の活用を優先して整備して参りたいと考えている。

Q. 3 佐藤 頼幸 議員
財政改善に向けた打開策はあるか。

A. 3 盛田 昌彦 町長
安定した行財政運営を進めるために本年度を聖域なき検証の年と位置付け、町有財産の積極的な活用やふるさと納税の推進、使用料等の在り方等、歳出の抑制と歳入の確保等について検討し、その結果と町民満足度調査や対話ミーティングでいただいたご意見を反映させた行政サービスの向上と財政基盤の強化に向けた取組をして参りたいと考えている。

Q. 4 佐藤 頼幸 議員
平成30年度の基金取り崩し額は、基金の状況を町民に分かりやすく町の広報に掲載して頂きたい。

A. 4 総務・防災課長
当初予算で3億円を予算計上していたが、実績では3千万程度の繰上となつて

いる。
基金の残高については、広報に掲載しているが、使

Q. 5 佐藤 頼幸 議員
基金を取り崩さないで予算編成は可能か。

A. 5 大村 師正 副町長
歳入・歳出のバランスの中で、当町の財政規模では、基金を取り崩さないで予算を成立させることは困難である。過去から基金を取り崩して当初予算を組んでいる。

Q. 6 佐藤 頼幸 議員
鹿部町は職員を増やし人件費が嵩んでいると思うが、町長の考え方を伺います。



A. 6 盛田 昌彦 町長
人材を確保することも大変大事なものだと思つている。適正な人材配置は勿論のことだが、その人材は貴重な財産だと考えている。



第2回・第3回臨時会

平成31年第2回臨時会は、4月25日招集され、次の案件について審議されました。

承認

◆平成30年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について
地方自治法の規定により3月29日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ4639万1千円を減額し、予算総額を27億7138万1千円としました。
主な内容は、ふるさと納税の寄付件数が減となったことから関連予算3815万5千円を減額したものです。

条例

◆鹿部町税条例等の一部を改正する条例の制定について
地方税法等の一部改正に伴い本条例の一部を改正したものです。

◆鹿部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
国民健康保険法施行令の一部を改正する政令に基づき本条例の一部を改正したものです。

◆鹿部町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
介護保険法施行令等の一部改正に伴い本条例の一部を改正したものです。

補正予算

◆平成31年度鹿部町一般会計補正予算について
歳入歳出それぞれ1377万9千円を追加し、予算総額を28億7677万9千円としました。

内容は、プレミアム付き商品券発行事業の関連予算884万5千円の追加が主なものです。

◆平成31年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について
内容は、歳入の保険料2

35万円を減額し、公費負担分として同額を追加したものです。
【以上6件原案どおり可決】

令和元年第3回臨時会は、6月28日招集され、次の案件について審議されました。

補正予算

◆令和元年度鹿部町一般会計補正予算について
歳入歳出それぞれ7270万円を追加し、予算総額を29億5260万5千円としました。

その他

◆財産の取得について
学校給食センターの配送車を更新するものです。
【財産の名称等】
給食配送用保冷車1台
【取得金額】

649万円

【取得の相手方】
函館三菱ふそう自動車販売株式会社
【以上2件原案どおり可決】

議員全員協議会

◆令和元年第4回議員全員協議会
開催月日
令和元年6月6日

○議題

1. 鹿部町庁舎等整備基本計画の中間報告について
計画に至った背景や庁舎整備に係る財源等について報告を受けました。

2. S B エナジー(株)の地熱開発調査について

地熱発電により電気を発電したとしても系統すなわち電線に空きがないのとこのことで、売電が厳しい状況となった。北電と協議等を進め本調査を実施するか判断する予定である。

3. 一般質問の追跡調査について
議員の一般質問に対し、町長等の答弁及びその後の対応を調査する追跡調査について内容の説明を受け、協議の結果6月議会の一般質問から試行的に実施することになりました。

◆令和元年第5回議員全員協議会
開催月日
令和元年6月28日

○議題

鹿部町役場庁舎建設基本計画(案)について
役場新庁舎建設に関する基本的な考え方や新庁舎の導入機能、配置計画、事業計画等について説明を受けました。



委員会の活動

総務経済常任委員会 所管事務調査

◇調査事項

令和元年度工事予定箇所
の現地視察について

◇調査年月日

令和元年5月9日

◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、現地調査を実施した。

◇調査結果

今年度予定されている主な建築・土木工事は5カ所で、次に示したとおりである。

1. 宮浜中央団地A棟外部 改修工事

建設から20年が経過し、屋上の防水及び外壁塗装の劣化が目立っていることから外部改修工事を実施するもので、事業費26,730千円のうち45%が国費から(12,028千円)交付される。今年度から4カ年計画で施工する予定となっている。

改修計画…令和元年度A棟、2年度B棟、3年度C棟、4年度D棟

2. 漁業系廃棄物リサイクル ル施設改修工事



廃棄物処理の発酵過程で発生するアンモニア等により、鉄骨部材の腐食が激しく屋根及び外壁の改修を実施するものである。

3. 町道鹿部市街地線改良 舗装工事

路盤及び舗装が薄く支持力不足のため、舗装の破損が著しく車両の通行に支障をきたしている。このことから改良舗装により舗装路面を安定させ、道路環境の改善と交通安全の確保を図るものである。この改良舗装工事は年次計画で平成28年度から実施しており今年度が最終年度となる。

4. 町道本別東3号線側溝 修繕工事

道路側溝の劣化が進み鉄骨が露出するなど歩行者や通行車両の安全に支障をきたす状況となっているので、側溝修繕工事を実施し、通行の安全を図るものである。

5. 鹿部川護岸補修工事

経年とともに土砂が堆積し中洲が形成されたことにより護岸の基礎が洗掘され、護岸背面の土砂が流出するおそれがあるため、護岸基礎の補修工事を実施するものである。

◇調査意見

公共施設及び町道の維持管理には、多額の費用を要することから施設の劣化状況、更には危険箇所等の点検に努められたい。また、工事の施工にあたっては、受託業者の指導監督に細心の注意をはらい効果的な改修工事が実施されることを望むものである。

民生文教常任委員会 所管事務調査

◇調査事項

鹿部町地域活動支援センター「ぼっぼ」の現状と課題について

◇調査年月日

令和元年5月10日

◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、現地調査を実施した。

◇調査結果

しかべ・ぼっぼ館は、平成27年度に道の駅しかべ間歌泉公園敷地内の既存建物を改修し、平成28年4月から鹿部町地域活動支援センターの活動拠点としてスタートした。

館内には、カフェぼっぼを運営するための厨房や、授産製品を作製する作業室、洗濯乾燥室、事務室等が整備されている。

鹿部町地域活動支援センター「ぼっぼ」は、平成19年4月から直営事業として実施しており、立ち上げ当初からボランティアの協力を受けている。また、平成26年度から、就労移行支援事業所「シゴトシンク北海道」に業務委託し運営している。

地域において障がい者が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、通所にて創作活動や生産活

動の機会を提供し、社会と交流を図る場となっている。

◇今後の課題

- ① 利用促進（利用者の増加）
- ② 授産製品の販路拡大（所得保障、就労場所の確保）
- ③ 生活の場の確保
- ④ 利用者の範囲の拡大（地域住民との交流を図るための施設の有効利用）

◇調査意見

障がい者の面倒を見ている家族が亡くなったたり、高齢や病気等により面倒が見られなくなった場合、障がい者が安心して生活できる場所の確保や生活支援の方法も検討していかなければならないので、町独自だけではなく近隣市町やグループホーム等を含め、広域での連携が必須であると思われる。今後は、更に「ぼっぼ」の障がい者の利用促進や地域住民との交流を図ることはもとより、就労場所所得保障を充実させ、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、「ぼっぼ」での活動がその一端を担うことができるような運営を望むものである。

議員行政視察

去る5月15日、特色ある子育て支援・人材育成事業に取組まれている埼玉県皆野町で行政視察を行いました。

行政視察報告

■概要

昭和30年3月に皆野町、国神村、金沢村、日野沢村が合併して「皆野町」となり、同32年3月に隣接の三沢村を編入合併して現在に至っている。

平成31年4月1日現在

【人口】 9755人

【世帯数】 3988世帯

【面積】 63.74km²

【位置】

埼玉県の西北、秩父郡の東北に位置し都心から80kmの圏域にある。

■研修事項

1. 子育て支援事業について

皆野町では、「楽しく子育てと元気で長生きができるまち」の実現に向け、子育て支援を重点施策として掲げ、誰もが安心して子どもを産み、楽しく子育てが

できるような妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない子育て支援事業を実施している。なお、10項目以上に及ぶ事業を展開しているが、特徴的な事業は、次の通りである。

○妊産婦家庭訪問

(ハッピーギフト事業)
保健師が育児ギフトを持って妊娠32週以降の妊婦を訪問する。

○子育て世帯等定住促進事業住宅取得奨励補助金

町内の少子化及び人口減少を抑制し、定住人口の増加を図るため皆野町に定住する子育て世帯などが新たに住宅を取得する場合に補助金を交付している。

2. 人材育成・生涯学習事業について

人づくり「豊かな心と多彩な文化を育むまち」の実現に向け、教育の基本理念に「心にふるさとを夢を宿し、生きる力を培う教育と文化の町を目指す皆野教育」を掲げ、新時代に向けてグローバル人材の育成等、

特色のある教育を実施している。なお、数十項目に及ぶ事業を実施している。特徴的な事業は次の通りである。

○皆野っ子学力向上事業(自主学習ノート)

小・中学生に自主学習用のノートを配布し、授業と家庭学習の連動を図るため宿題にプラスして自分で考え自主的に学習する様々な工夫がされている。また、保護者・教職員のコメント欄が設けられており、保護者と学校が一体となって学力の向上を目指している。

○グローバル教育

幼稚園から中学校までの12年間を通して英語に触れ、グローバル社会を生き抜く力を持った児童・生徒の育成を行っている。

■行政視察を終えて

皆野町では、少子高齢化や人口減少が進行している中で、誰もが安心して子どもを産み、楽しく子育てができるよう妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のな

い子育て支援事業を実施している。また、グローバル化に対応した人材を育成するため、幼稚園から中学校までの12年間を通して英語に触れ、外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取り組みを行っており、特に「話すこと・書くこと」の学習を充実させ、習得した表現を生かす環境づくり、実践的な教育等、参考になる事例が多く、非常に有意義な研修となりました。この研修の成果を今後の町制に反映して参ります。

■参加者

議長	中川 一
議員	川村 裕司
議員	浦 梅吉
議員	千葉 光義
議員	高橋 茂夫
議員	船橋 敦子
議員	吉 英樹
議員	三谷百十樹
教育長	佐々木昌子
局長	工藤 敦弘
	以上10名

議員研修会

去る6月25日、北海道町村議会議長会主催の議員研修会に参加しました。

今年は政治評論家の有馬晴海氏と中央大学名誉教授の佐々木信夫氏を講師に招き、「どうなる今後の日本政治」、「地方は変わるか、自治会はどう変わるか、自治体をどう変えるか」と題して講演を頂きました。

研修には全道の町村議会議員が出席し、長時間にわたる講演に、熱心に耳を傾けていました。



鹿部町議会だより

令和元年5月～7月 本会議及び各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席(病欠含む)、△は遅刻・早退、―は該当なし)

会 議	高橋	吉	千葉	野田	船橋	中川	浦	佐藤	三谷	川村
	茂夫	英樹	光義	重毅	敦子	一	梅吉	頼幸	百十樹	裕司
総務経済常任委員会所管事務調査 (5/9)	―	○	○	×	―	○	○	―	―	○
民生文教常任委員会所管事務調査 (5/10)	○	―	―	―	○	○	―	○	○	―
議会運営委員会 (6/3)	○	―	○	―	○	○	○	―	―	―
令和元年第2回定例会 (6/6)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年第4回議員全員協議会 (6/6)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和元年第3回臨時会 (6/28)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年第5回議員全員協議会 (6/28)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会(議会だより編集 7/19)	○	―	○	―	×	○	○	―	―	―
民生文教常任委員会所管事務調査 (7/22)	○	―	―	―	○	×	―	○	○	―
総務経済常任委員会所管事務調査 (7/23)	―	○	○	×	―	○	○	―	―	△

議会の行事

5月

- 9日 総務経済常任委員会所管事務調査 (全委員)
- 10日 民生文教常任委員会所管事務調査 (全委員)
- 20日 鹿部商工会総会 (議長)
- 24日 南渡島消防事務組合議会臨時会 (関係議員)
- 25日 鹿部中学校体育祭 (全議員)
- 27日 渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会 (関係議員)
- 28日 渡島総合開発期成会総会 (議長)
- 29日 鹿部温泉観光協会総会 (全議員)
- 31日 渡島福祉会理事会 (議長)

6月

- 1日 鹿部小学校運動会 (全議員)
- 3日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 6日 第2回議会定例会 (全議員)
- 議員全員協議会 (全議員)

11～12日

- 北海道町村議会議長会定期総会 (議長)
- 17日 岩手県葛巻町議会視察受入れ (議長)

25～26日

- 北海道町村議会議長会主催議員研修会 (全議員)
- 28日 議員全員協議会 (全議員)
- 第3回議会臨時会 (全議員)

7月

3～4日

- 渡島開発期成会札幌要望 (議長)
- 6日 渡島地方消防総合訓練大会 (議長)
- 11日 渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会 (関係議員)
- 18日 渡島町村議会議長会議 (議長)
- 19日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 22日 民生文教常任委員会所管事務調査 (全委員)
- 23日 総務経済常任委員会所管事務調査 (全委員)